

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年12月1日（木）

### 2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアX
- ・瓦礫類一時保管エリアn

### 3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアX及びnの状況

### 4 確認結果の概要

東京電力福島第一原子力発電所では、昨年、瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管されていた収納容器（コンテナ、ノッチタンク）から放射性物質が漏えいした事象が複数確認された。

東京電力は、これらの件を受けて令和3年度に一時保管エリアのコンテナの内容物確認と、飛散抑制対策が必要な瓦礫類を保管している収納容器に対して耐候性シートにより養生を行い、点検の中で発見された腐食コンテナの中身を詰め替える作業を行っている。

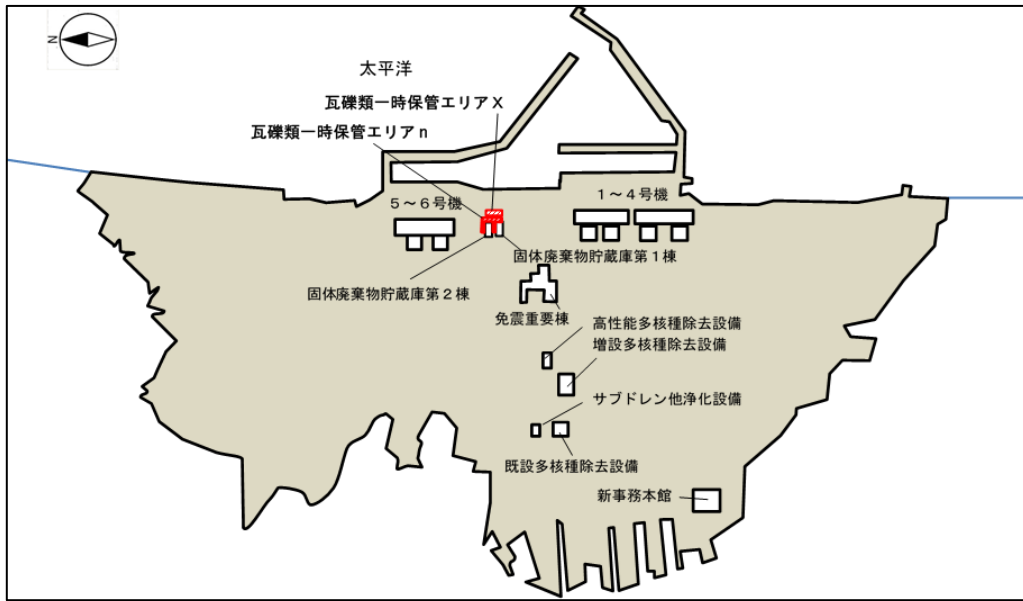
今回は腐食コンテナの中身の移し替えが行われている一時保管エリアX及び一時保管エリアnの状況を確認した。（前回確認：令和4年4月21日（一時保管エリアX）、令和4年3月8日（一時保管エリアn））

<一時保管エリアXの状況>

- ・前回確認時、一時保管エリアXでは、エリアのほとんどが収納容器で占有されており、収納容器が耐候性シートにより養生されていたが、今回確認したところ、シート養生が一部剥がされていた。また、一部のコンテナが移動され、保管されているコンテナが減っていることを確認した。（写真1）
- ・確認した範囲では、内容物の飛散や流出などの状況は確認されなかった。

<一時保管エリアnの状況>

- ・一時保管エリアnでは、一部の養生が剥がされたまま置かれていた。前回確認時と比較してコンテナの数は変化していないようだった。（写真2）
- ・一時保管エリアXと同様、確認した範囲では、内容物の飛散や流出などの状況は確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
一時保管エリアXの状況① (南西側から撮影)



(写真1-2)  
一時保管エリアXの状況② (南東側から撮影)



(写真1-3)  
一時保管エリアXの状況③ (北東側から撮影)



(写真2-1)  
一時保管エリア n の状況 (南西側から撮影)



(写真2-2)  
一時保管エリア n の状況



(写真2-3)  
一時保管エリア n の状況 (北部分を西側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。